神賑ひ一般

折口信夫

青空文庫

静かな秋冬が来る。わが国も、幸福な月日が廻つて来て、神の心も明るくなつて来て居られることゝ思ふ。秋からさきは神事が多く、従つて神の心を賑はし申す行事が、社々で行はれる。耳を澄すと、どこの野山、かしこの町中などに、必日毎に神祭りの楽器の音がしてゐる。秋ばかりに限つた事ではないが、此時期にかう言ふ神事の多く行はれるのは、理由のあることである。祭りがあると、芸能めいた所謂神賑ひの行はれるのが普通である。今日の人は、之を余興のやうに思つてゐるが、其は違ふ。祭り自体にとつて、極めて重要な部分だつたのである。

其等の中、特殊なものでない限りは、神楽（カグラ）といふ名で、いろ〳〵違つた芸能をひつくるめてゐる。まづ総括出来る名目を立てれば、「神遊（カミアソビ）」と言ふ古い語であらう。神楽はその中の特殊なものを言ふ語で、元はあつたのである。

神遊びは、神の行はれる遊びを言ふ義で、「あそび」と言ふことに意義の中心はある訣である。昔は鎮魂と言つて、人の身に魂を鎮める行事があり、それを行ふ時期があつた。其を行ふ方法も色々あつて、地方々々、家々で、実に多くの鎮魂法が行はれてゐた。併し、其等には皆共通した所があつた。歌をうたひ、楽器を鳴らし、舞踊を行ふことが其である。さうすることによつて、よい魂が人の身に鎮るものと信じてゐたのである。後世は、神事を離れた、遊びと言ふ語が広く行はれることになつたのである。

そんな訣で、冬には何となく、心の温まるやうな神事が行はれるのであつた。鎮魂行事のあつ

たのは冬の事であつたが、収穫祭が秋、其に続く鎮魂祭が冬と言ふ風に、祭りを中心に時の名を称へたので、秋と言つても、冬の中にもなり、又暦の考へが変つて、秋に行ふ祭りだから、暦の上の秋季にすると言ふやうなことにもなつて、秋冬にわたつて、祭の種類が次第に分化して行つた。さう言ふ神遊びの中に、神楽（カグラ）と言ふ流行を捲き起すものが現れた。平安中期の事である。それ以前から必、神遊びが神事芸能としての享楽方面を拓いて居たには違ひないが、一躍して芸能の喜びを覚えさせるやうになつたのは、神楽が栄え、催馬楽（サイバラ）を分出させた頃からであらう。併しこの頃になると、もう、宮廷だけに神事芸能が発見せられたと言ふやうな事ではなく、諸国の社や聖地にも、神事から芸能の歓心が、目ざめて居たのである。東遊（アヅマアソビ）、風俗（フゾク）などは、東国から出た痕を明らかに示してゐる。併し詳しく言へば、神事芸能の起原は、此一つに止らない。

相撲などは、神事として、因縁の古い占ひであつた。秋に這入つてまづする農事の占ひは、このすぼうつによる外はなかつた。其が、宮廷にも、諸国の社にも催され、遂に芸能の神事として、人の心に大きな喜びを唆るまでになつたのである。神事から出て芸能化したいろ〳〵の神賑ひを思ふと、信仰の根深さ、又形を変へて永続する強い意力を感じる。打毬・馬術・賭弓（ノリユミ）の各種目も同様、神事占ひから出発した痕が認められるのである。

かうして日本の神々が、芸能を深く愛好せられると言ふ印象を、昔の人は持つやうになつた。荘厳な雅楽――又、舞楽――が、神事芸能に入れられたのも、かうした古人の理会から来た。

田楽・猿楽の如く、中世から近世へ栄えた芸能も亦、最神事に縁の深いものであつた。武術などはまさか、と思ふ人もあらうが、此亦相撲同様、勝負を以て判ずる占ひの基準として、祭時に行はれたものが多かつたのである。

かう言ふ風に祭時に当つて、神社は芸能綜合の機能を発揮するのであつた。花などは、寺方からのみ起つたものと思はれてゐるが、之が純日本的起原を溯れば、やはり神事に帰する所もあり、最縁遠かりさうな茶の湯・香道などが、やはり神事に関聯してゐた。春日若宮祭りの夜の神幸には、盛んに香を炷くし、近江の日吉の大祭には、神輿に茶を献ずる式を行つてゐる。

我々は、神が様々の芸能文化を分出し、又新しい芸能をとり容れて来られた迹を眺めて、今後の祭りの益賑々しく、栄えゆくことを思ひ、心自ら豊かなるを禁めえないのである。

青空文庫情報

底本：「折口信夫全集　21」中央公論社
　　1996（平成8）年11月10日初版発行
底本の親本：「折口信夫全集　第十七巻」中央公論社
　　1967（昭和42）年3月25日発行
初出：「明治神宮祭の栞」
　　1949（昭和24）年11月発行
※底本の題名の下に書かれている「昭和二十四年十一月「明治神宮祭の栞」」はファイル末の「初出」欄に移しました。
入力：門田裕志
校正：フクポー
2019年8月30日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（https://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

神賑ひ一般

折口信夫

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/